

新・八幡計画 ～どんな難問にも必ず答えはある!～ ～やればできる! はたさく野菜でもう一儲け! たよれる担い手と共に～ 江別市

1 課題設定の背景

- 江別市八幡地域は、小麦を基幹に水稻、大豆の土地利用型農業が行われている。
- 平成28年、秋まき小麦に土壤病害が発生し、連作の危険性が認識された。
- 4年以上の適正輪作に向け、既存作物の大豆、新規作物の直播てんさい、子実用とうもろこしの作付面積が拡大しており、収量・品質の安定確保が喫緊の課題。
- 今後、担い手不足による経営規模の拡大と労働力不足が予想される。大規模経営を安定的に持続するため、各農作業の省力化と担い手の確保・育成が課題。

2 活動の内容

その1 新規作物導入

JAの重点推進品目である「ブロッコリー、子実用とうもろこし、直播てんさい」の導入体制を関係機関と連携して整備。



懇談会で新規作物導入のポイント説明

その2 土地利用型作物の安定生産

既存作物「大豆」、新規作物「子実用とうもろこし、直播てんさい」の収量・品質の安定確保に向け、八幡版防除歴、栽培マニュアルを整備。

子実用とうもろこし 生産・利活用の手引き（江別版）

生産現場で課題が生じ始めていませんか？

- ① 3年以上の輪作体系を組まず、連作障害や収量低下が出始めた
- ② 難防除雑草の除草に困っている
- ③ 労働時間の確保が大変で、各種作業が後手後手になってしまう
- ④ 圃場へ有機物を還元したいが、良い手段がない
- ⑤ 多額の費用を掛けずに排水性を向上させたい



栽培推進用パンフレットの作成・配布

その3 省力化技術の導入

水稻省力化技術（密苗・稚苗移植、無代かき栽培、除草剤省力化散布）の導入、定着のため展示ほ設置やJA・機械メーカーと連携して実演会、見学会を開催。



水稻の密苗展示ほ設置

その4 青年農業者の育成

栽培技術、経営能力向上のため、講習会、研修会を実施。
身近な課題を解決する、「個人プロジェクト」を支援。



青年を対象とした小麦の青空講習会

3 活動の成果

その1 ～新規作物導入～



「ブロッコリー」
新規導入1戸



既存品目「小麦」



既存品目「大豆」



「子実用ともろこし」
新規導入3戸

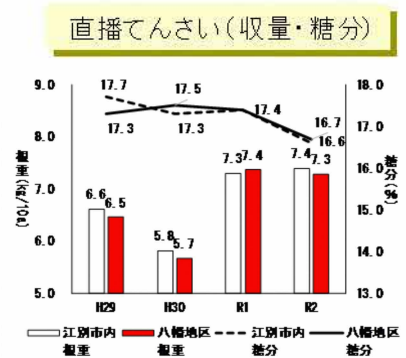
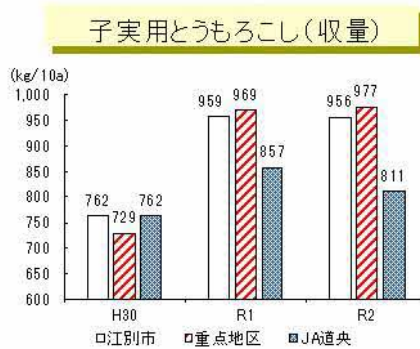


「直播てんさい」
新規導入9戸

◆小麦の連作解消！

～小麦以外の土地利用型作物の面積増加～
H27：35ha → R2：83ha

その2 ～土地利用型作物の安定生産～



◆基本技術が定着！

～安定生産で目標収量確保～

その3 ～省力化技術の導入(水稻)～



◆除草剤の省力散布
新規導入9戸

◆育苗の省力化
新規導入2戸

その4 ～青年農業者の育成～

◆八幡青年倶楽部設立
会員8名

◆個人プロジェクト
R2 5名実施

4 今後の対応

水稻は、省力化技術導入による作業の効率化と低コスト化が図られた。また、畑作物は、小麦、大豆に子実用ともろこし、直播てんさいを組み込んだ新たな輪作体系が構築されたことから、今年度で八幡地域の活動は終了し、今後は、各農業者のニーズに応じた要請活動と八幡青年倶楽部の学習活動の支援とする。